

ぼくらが沼津の未来をつなぐ

「欲しい暮らしは自分でつくる」

まちを使い倒し、まちを楽しみ尽くす。
まちと暮らしをリノベーションし、未来を切り開く実践者、集まれ！

第5回

RENOVATION
SCHOOL
リノベーションスクール

リノベーションスクール @ 沼津

今回のリノスクは
ちょっと違う！

遊休不動産だけでなく、まちのコンテンツを俯瞰的に捉えて、イノベーションを興し、
エリアやまち、地域に新しい価値を創造する、そのリアルなプレゼンテーションを見学しにきませんか？

最終公開プレゼンテーション
2020.2.9 (sun) 14:00 ~ 15:30
会場：新仲見世商店街

見学無料

詳しくは裏面
または

<https://re-re-re-renovation.jp/schools/numazu05>

 リノベーションまちづくり沼津

主催：沼津市

企画：株式会社リノベリング 運営：沼津市リノベーションまちづくり実行協議会/株式会社リノベリング

100% U-TURN CITY 沼津には大学がなく、多くの学生は進学を機に転出してしまいます。同時にそれは、外の地で様々なスキルを身に付け活躍している人がいるということ。そして、首都圏からのアクセスの良さを考えると、沼津は首都圏でのビジネスや住まいの2つ目の拠点となる可能性があります。「いったん離れた人たちが自分たちのまちをつくること」をコンセプトに、帰ってきた人が関わりやすいまちへの変革を、「リノベーションまちづくり」により実現します。リノベーションまちづくりでは、Uターン人材等の市外でスキルを身に付けた人材による「働く」「育てる」「学ぶ」「住む」「遊ぶ」コンテンツを通じた「質の高い雇用」を次々と生み出します。まちなかだけではなく、海と山などの自然環境にも恵まれている沼津を、あなたの手で変化をもたらしてみませんか？ 建築や不動産の知識がなくても全く問題ありません。建物の再生だけではなく、まちの期待値を高める仕掛けでそのエリアがどのように変わるか、そして、どのような波及効果を作れるか。まちの新たなビジネスを考えるスクールです。

5回目の開催となる今回のリノベーションスクールでは、まちの未来につなげていこうなソフト面での仕掛けの事業プランを作ります。受講生は、8名程度のグループ(ユニット)に振り分けられ、定期マーケット、自走できるメディア、既存店舗・事業継承支援の専門家を講師(ユニットマスター)に迎え、3日間かけてアイデアを出し、企画、デザイン、事業計画を立案します。最終日には公開プレゼンテーション。そして、スクール後に実現可能性の高い提案については、ブラッシュアップを重ね、来年度、市の取り組みと連携して、事業化を目指していきます。まちを使い倒し、まちを楽しみ尽くす。まちと暮らしをリノベーションし、未来を切り開きます！

①マーケットユニット

単なるイベントではなく、有り余る公共空間を活用し、市場の見え方や新たなチャレンジの場となる定期マーケットを立ち上げます。

②メディアユニット

沼津のコンテンツを切り出し、未来のお客様に伝える新たな自走できる地域メディアを創設します。

③事業リノベーションユニット

既存店舗・事業継承支援として、沼津オリジナルのお店を支援し、まちの興行きを育てていきます。

一般公開プログラム 見学無料・申込不要

ライブアクト

会場：
新仲見世商店街 うるわしビル 1F
(沼津市大手町4-5-12)



最終公開プレゼンテーション

2/9(sun)
14:00~15:30
会場：新仲見世商店街

スクール最終日に
公開プレゼンテーションを行います。



◆ 2/7(fri) 11:00~12:00

オープニングアクト

青木 純
(あおき じゆん)

(株)まめくらし 代表取締役
(株)nest 代表取締役
(株)都電家守舎 代表取締役



1975年東京都生まれ。日本の賃貸文化を革新したカスタマイズ賃貸で新しい市場を創造し、経産省「平成26年度先進的なリフォーム事業者表彰」受賞。グッドデザイン賞受賞の「青豆ハウス」や、JR東日本都市開発と共に取組む「高円寺アパートメント」では住人と共に共同住宅を運営。主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取組む。生まれ育った豊島区では都電家守舎の代表として遊休不動産の転貸事業や飲食事業「都電テーブル」を展開。「南池袋公園」など公共空間活用も民間主導の公民連携で実現する。全国展開する民間主体のまちづくり事業として注目を集めるリノベーションスクールには2013年から参加。

加藤 寛之
(かとう ひろゆき)

都市計画家
(株)サルトコラボレイティブ 代表取締役



大学在学中よりsarto.を立ち上げ、まちづくり系シンクタンクCOM計画研究所にて景観形成・中心市街地活性化に関する業務に携わる。卒業後、イタリアに6ヶ月間の旅へ、大小20以上の都市を巡り、ローマに住む。2008年sarto.を法人化し、株式会社サルトコラボレイティブ設立。現在は、丹波市、伊賀市、大阪市、石垣市等の地域再生業務に従事。地元大阪阿倍野のまちで地域の価値を高める仕組みとして、店舗や人材を守り育てるバイロークアルプロジェクトや、ストックリノベーションによる有休不動産活用等もライフワークとして取り組む。

◆ 2/8(sat) 8:00~9:00

児島 永作 (こじま えいさく)
「物語マーケティングを使って
事業の付加価値を高める方法」

(株)フェリシモ 東北事務所 所長

1999年入社。2011年の東日本大震災後、「とうほく帖」というカタログを発刊し、その商品開発や復興支援プロジェクトの運営を担う。現在、仙台にフェリシモ東北事務所を開設し新事業「Startline(スタートライン)」で商品企画ノウハウを伝えるセミナーや大手企業との販路マッチングイベントを主催。



クロージングアクト

15:30~16:00

清水 義次 (しみず よしつぐ)
「これからの
リノベーションまちづくり」



(株)アフタヌーンサエティ 代表取締役
(株)リノベリング 代表取締役

1949年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。マーケティング・コンサルタント会社を経て、1992年、株式会社アフタヌーンサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。民間のみならず公共の遊休不動産を活用しエリア価値を向上させるリノベーションまちづくり事業をプロデュースしている。

◆ 2/8(sat) 18:00~19:00

原田 一博 (はらだ かずひろ)
「地域を活かしたメディアづくり」

(株)morondo 代表取締役

1981年大阪府枚方市生まれ。2008年に起業し、10年より「枚方っしん」を本田一馬(共同経営者)と運営。2015年枚方市総合計画審議会委員。「枚方っしん」(通称ひらっしん)は大阪府枚方市に特化したローカルメディア。地元民が気になるお店の開店情報など誰かに話したくなる雑談ネタを毎日配信し月間300万PVのウェブサイトへ成長。NHKニュースほっと関西などTVや新聞、雑誌などで多数取り上げられる。ローカルメディアを集めたイベント「ローカルメディアサミット」を主催。2016、17年LINE MEDIA AWARD受賞。枚方っしん http://www.hira2.jp

